

2023 spring

# ガウディア新聞

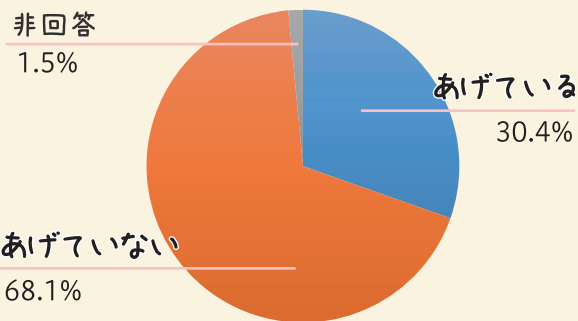
## 子どもに伝えたい、生きる力

2022年度から高校の家庭科の授業で「資産形成」が必修となりました。成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、18歳で銀行口座の開設やクレジットカード・携帯電話などの契約も保護者の同意なしでできるようになりました。日本人は人前でお金に関する話をするのが苦手といわれてきました。しかし、高校卒業時には成人となる今の子どもたちがお金のトラブルに巻き込まれないように、学校での授業とともに、小さなころからお金に関するお話をご家庭でもしていくことが必要になりそうです。

### おこづかい管理で生きる力を

お金は生きていくために欠かせないものです。自分のお金を自分で管理して使えるようになることは、お子さまが社会に出た時に必要な「生きる力」となります。お子さまには将来、お金で困ることがないように、お金の正しい管理や使い方を学んでほしいですね。自分でお金の管理をしていくためには、まず自分のおこづかいの管理から始めてみるのはいかがでしょうか。株式会社ラボネットワークがスクールフォト販売サイト「スナップスナップ」のサービス登録ユーザーに対して実施したおこづかいに関するアンケート調査をご紹介します。

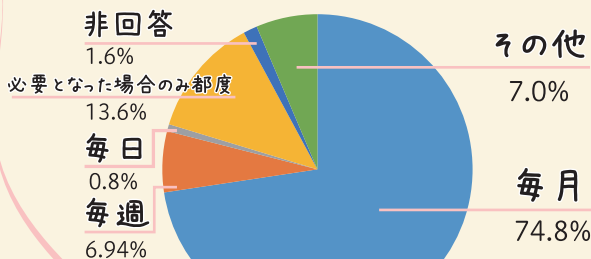
Q おこづかいをあげていますか？



Q おこづかいをいつからあげていますか？

- 1位 小学1年生
- 2位 小学4年生
- 3位 中学1年生
- 4位 小学5年生
- 5位 小学3年生

Q おこづかいをあげる頻度はどれくらいですか？



おこづかいの平均金額は、小学1年生(7歳)で約500円、小学4年生(10歳)で約1,000円、中学1年生(13歳)で約2,000円という結果でした。

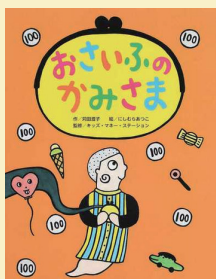
おこづかいをいつからあげている？では、「7歳(小学1年生)」が30.5%と最も多く、次いで「10歳(小学4年生)」が13.0%、「13歳(中学1年生)」が12.9%という結果でした。

あげる頻度については、「毎月あげている」と回答した人が74.8%と最も多い結果となりました。また、その他の回答としては「お手伝いをしたとき」、「テストの点数に応じて」という意見が多く寄せられていたのが特徴です。

みなさまのご家庭ではどのようにおこづかいをあげていますか？

※データ元「スナップスナップ調べ」 ※数値は四捨五入しており、パーセンテージの合計が100%にならない場合がございます。

ご家庭でお子さまとお金についてお話するきっかけとなるような絵本を、キッズマネーステーション代表の八木陽子さんに教えていただきました。絵本を通して、お金の大切さや使い方などをお子さまとお話してみてください。



おさいふのかみさま  
フレーベル館  
作：苅田澄子  
絵：にしむらあつこ  
監修：キッズ・マネー・ステーション

100円をもらい、どろりん商店街に買い物にでかけたばけけ、欲しいものを買おうとするのですが…。親子で学べるお金の絵本。



しょうじき50円ぶん  
あかつき教育図書  
作：くすのきしげのり  
絵：長野ヒデ子

弟とたこ焼きを買って帰ってみると、おつりが50円多かった。正直に言って、たこ焼き屋のおじさんに返すか、それとも、知らん顔してもらっておくか。さて、どうしよう？

キッズ・マネー・ステーション代表。著書に「10歳から知っておきたいお金の心得」など多数。きちんとお金や社会のしくみを教え、『自立する力』を子供へ贈る。

キッズ・マネー・ステーションは、そんな【マネー教育・キャリア教育・消費者教育】を目指しています。



八木 陽子  
Yagi Yoko